

## 長くつ下のピッピ

リンドグレン/作 大塚 勇三/訳

岩波書店 1964年

ピッピは9才の女の子。世界一力が強くて、こわいもの知らず。学校には行かず、ごたごたもうでくらしています。ピッピのやることはきそうてんがい奇想天外ですが、となりの家のトミーとアンニカは、そんなピッピが大好きで、いっしょに遊ぶようになります。全3巻。



## 百まいのドレス

エレナー・エステイス/作 ルイス・スロポドギン/絵

石井 桃子/訳 岩波書店 2006年

ワンダは家が貧しくて、いつも同じ服を着ているという理由でいじめられています。「百まいのドレスを持っている」と言ったため、ますますからかわれたワンダは、ある日美しい百まいのドレスの絵を残して、学校にこなくなりました。



まだまだおすすめ  
あります！

この本もよんでみよう

「おじいちゃんの口笛」ウルフ・スタルク/作 菱木 晃子/訳 ほるぷ出版 1995年

「シンドバッドの冒険」ルドミラ・ゼーマン/文・絵 脇 明子/訳 岩波書店 2002年

### 千葉市図書館

中央図書館	043-287-3980	若葉図書館	043-237-9361
みやこ図書館	043-233-8333	緑図書館	043-293-5080
花見川図書館	043-250-2851	美浜図書館	043-277-3003
稲毛図書館	043-254-1845		

その他、分館・公民館図書室の情報や、各館の詳細情報はホームページをご覧ください。



千葉市図書館 検索

2023 年度作成

## 千葉市図書館おすすめブックリスト

# よんでみよう

## <3・4年生>

あなたの心に豊かな読書体験が残るように、  
図書館員が心をこめて本を選びました。

## ロバのシルベスターとまほうの小石

ウィリアム・スタイク/さく せた ていじ/やく

評論社 2006年(初1975年)

ロバの子のシルベスターは、願いがかなうという小石をひろいました。ところがその帰り道、目の前にライオンがあらわれたので、思わず「岩になりたい！」と願ってしまいました。岩になって動けなくなったシルベスターは、家にもどれるのでしょうか。



## お江戸の百太郎

那須 正幹/作 長野 ヒデ子/画

岩崎書店 1986年

寺子屋で学ぶ百太郎は12才でしっかり者。岡っ引きの父ちゃん  
と二人暮らしです。父ちゃんは人は良いけれど、捕物の腕は今一  
つさえません。百太郎は友だちといっしょに父ちゃんの手助けをし  
ます。いろいろな話が4話入った短編集です。全6巻。



## 大どろぼうホッツェンプロッツ

プロイスラー／作 なかむら こうぞう やく 中村 浩三／訳  
かいせいしゃ 偕成社 1966年

おばさんのコーヒーひきをぬすんだ悪名高い大どろぼうをつかまえようと、まごのガスパールと友だちのゼッペルは作戦を立てますが、なんと大どろぼうにつかまってしまいます。ふたりは知恵をしぼって大どろぼうに立ち向かいます。全3巻。



## おそうじをおぼえたがらないリスのゲルラング

J・ロッシュ＝マゾン／作 ほりうち せいいち 堀内 誠一／画  
やまぐち ともこ やく ふくいんかんしよてん 山口 智子／訳 福音館書店 1973年

子リスのゲルラングはおそうじが大好き。じまんの赤いしっぽを汚したくないからです。ある日、おばさんににじられて家を出し、オオカミにつかまりますが、少しもあわてず、意地っ張りの根性でオオカミをやり込めてしまいます。全2巻。



## 火曜日のごちそうはヒキガエル ヒキガエルとんだ大冒険1

ラッセル・E・エリクソン／作 ローレンス・ディ・フィオリ／絵  
さとう りょうこ やく ひょうろんしゃ 佐藤 涼子／訳 評論社 2008年(初1982年)

ウォートンとモートンはヒキガエルの兄弟。ある日、ウォートンはおばさんにおかしを届けようと出かけますが、ミミズクにつかまってしまいます。6日後の誕生日のごちそうにするためです。ウォートンは6日間をどのようにすごしたのでしょうか。全7巻。



## がんばれヘンリーくん

ベバリー・クリアー／作 ルイス・ダーリング／絵  
まつおか きょうこ やく がっけん 松岡 享子／訳 学研プラス 2007年(初1968年)

ヘンリーくんは小学3年生。ある日、とてもやせた犬を拾います。あばら骨が見えるのでアバラーと名づけ、家につれて帰ろうとバスに乗ると、あばらだして大騒ぎに。それからというもの、思いがけない事件が次々におこります。全14巻。



## ものぐさトミー

ペーン・デュボア／文・絵  
まつおか きょうこ やく いわなみしよてん 松岡 享子／訳 岩波書店 1977年

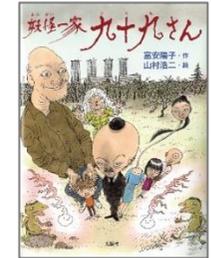
トミーは、電気じかけの家に住んでいます。

朝ベッドから起きるのも、お風呂に入るのも、服を着るのも、食べるのも歯をみがくのも、すべて電気じかけ。ところがある嵐の日、停電になって、電気じかけの家は7日間止まってしまいます。



ようかい つ く も 妖怪一家九十九さん  
とみやす ようこ やまむら こうじ 富安 陽子／作 山村 浩二／絵  
りろんしゃ 理論社 2012年

人間たちが住む団地の一室で、こっそり生活を始めた妖怪一家は、ヌラリヒョン、ろくろっ首、サトリにアマノジャクに一つ目小僧、見越し入道とやまんばの7人家族です。最も大切なルールは「人を食べないこと」。ちょっとコワくてゆかいなお話。全10巻。



## セロひきのゴーシュ

みやざわ けんじ 宮沢 賢治／作 またい たけし 茂田井 武／画  
ふくいんかんしよてん 福音館書店 1966年

セロひきのゴーシュは、演奏が下手でしかられてばかり。ある晩、1ぴきのねこが、セロをひいてほしいとやってきます。それから毎晩動物たちが次々にやってきて、演奏をねだるようになり、ゴーシュの腕前もあがっていきます。さし絵も楽しい物語です。



## 小さなスプーンおばさん

アルフ＝プジョイセン／作 おおつか ゆうぞう やく 大塚 勇三／訳  
がっけん 学研プラス 1966年

おばさんはいつも突然、時も所もおかまいなしに、ティースプーンくらいに小さくなってしまいます。困ることもありますが、知恵をばたらかせて、いつも通りに困難を乗り越切っていきます。

